



センターWebページへ

トップ

研修講座の概要(1)

研修講座の概要(2)

講座紹介・受講者の声

研究発表会レポート

ハイライト:

「平成22年度センター研修講座」を特集します。

当センターでは、幼児児童生徒一人一人が夢に向かって主体的に取り組むよう学習活動を充実させるべく、効果的な研修の実現に向けての取組を進めて参ります。

目次:

平成22年度 教職員研修講座の概要(1)	2
平成22年度 教職員研修講座の概要(2)	3
講座紹介・受講者の声	4
研究発表会レポート お役立ち情報	5

青森県総合学校教育センター センターだより

巻頭言

「高等学校における特別支援教育の必要性」

学校教育法等の改正により、特別支援教育は平成19年4月から新たな制度としてスタートして、早3年を経過しようとしています。

さて、先に公表された文部科学省の「特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議の高等学校ワーキンググループ報告(平成21年8月)」によると、小・中学校段階では、①通常の学級に6%程度の割合で発達障害の児童生徒が在籍していること、②中学校特別支援学級在籍生徒の23%が高等学校等に進学していること、③高等学校への進学率が97%を超えていることなどについて報告されています。また、高等学校進学者のうち



青森県総合学校教育センター
特別支援教育課長 古川 光啓

2%程度の割合で教育上特別な支援を必要としている生徒がいる現状の中で、特別支援教育の体制整備については、高等学校を含むすべての学校において、「特別支援教育の推進について」(平成19年4月文部科学省通知)等に基づき、「校内委員会の設置」、「実態把握の実施」、「特別支援教育コーディネーターの指名」、「教員研修による専門性向上」等の取組が全国的に進められています。しかしながら、高等学校では体制整備への着手が遅かったことなどの要因もあり、小・中学校に比べて、基本的な体制整備が遅れていることも報告されています。

折しも、昨年3月に告示された「高等学校学習指導要領」には「特別支援教育の必要性」についても明記され、高等学校では特別支援学校等の助言・援助を活用しながら、発達障害のある生徒に対して適切な支援を行うことが求められる時代となりました。

こうした状況を踏まえ、青森県教育委員会では、「高校生のための相談等総合支援事業」を開始いたしました。主な内容としては、県内高等学校の事業実施校6校に「総合支援推進員」を配置して校内支援体制の整備に取り組むことや、高等学校教員の理解促進のための研修会を開催することです。この事業を通して、高等学校における校内支援体制や指導の充実及びキャリア教育・就労支援等の課題解決に向けて取り組んでいるところです。

当センター特別支援教育課としましても、「生徒の実態把握のための検査実施」、「発達障害の理解と対応のための校内研修会」及び「学校コンサルテーション」等を通して高等学校へ積極的に支援していきたいと考えています。この他にも、発達障害に関する研修講座や教育相談セミナーを開催していますので、当センターホームページを御覧になり積極的に受講していただきたいと思います。とりわけ、特別支援教育の要となる「特別支援教育コーディネーター」には、自校の課題解決を図るために、当センターの「特別支援教育コーディネーター研修講座」を受講してみることをお勧めします。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

研修講座の概要(1)

研修講座の概要(2)

講座紹介・受講者の声

研究発表会レポート

平成22年度研修講座の概要（1）

青森県総合学校教育センターでは、青森県教職員研修体系に基づき、受講した教職員が「幼児児童生徒一人一人が夢に向かって主体的に取り組むよう教育活動を充実させる」こと、「社会の変化に伴い学校教育に求められている課題を解決できる」ことを願って、平成22年度基本方針と重点を基に研修講座を編成しました。

【基本方針】

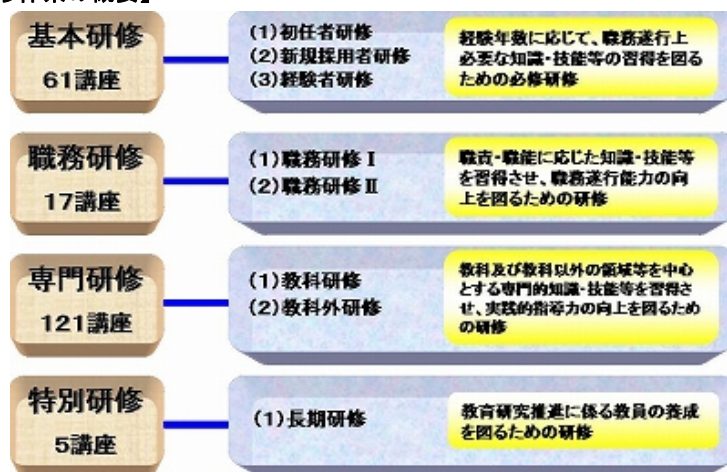
- 1 基礎・基本を大切にする。
- 2 社会の変化に対応する。
- 3 体験的な活動を積極的に取り入れる。
- 4 学校の教育課題の解決を支援する。
- 5 特色ある教育、特色ある学校づくりを支援する。

【重 点】

- ① 教育要領・学習指導要領の趣旨・内容を重視する。
- ② 学校が直面している教育課題に適切に応える。
- ③ 「教育の情報化」に対応した内容を積極的に取り入れる。
- ④ 「指導と評価の一体化」についての内容を積極的に取り入れる。
- ⑤ 「個に応じた指導」「特別の支援を必要とする子どもの教育」についての内容を積極的に取り入れる。
- ⑥ 継ぎ目のない教育を推進するために「校種間の接続」に関する内容を積極的に取り入れる。

平成22年度は、基本研修61講座、職務研修17講座、専門研修121講座、特別研修5講座の計204講座を開催します。全講座の中から、特色のある講座を次に紹介しましたので御覧ください。また、研修講座一覧表と研修講座予定表を各学校に送信しておりますので御覧になり、ぜひ受講してください。

【研修体系の概要】



【特色ある講座】

◆383 中・高等学校英語ブラッシュアップ講座

中・高等学校の英語では、生徒が自分の考えなどを発信できるよう、聞く・話す・読む・書くの4技能を総合的に育成する教員の指導力が求められています。

本講座では、英語で授業を進めることができるよう英語運用能力の向上を図ることをねらいとしています。内容は、外国語指導助手とのコミュニケーション活動やワークショップを通して4技能の向上を図るコミュニケーション・プラクティス、趣旨を英語で明確に伝え聴衆をひきつけ楽しませる技能を身に付けるプレゼンテーションの演習などを行います。コースを3つに分けているため、興味に応じて選択することができます。

◆501 心に響く道徳教育講座

小・中学校学習指導要領においては、道徳の時間の位置付けが道徳教育の要としてより強調されるとともに、各学校では「道徳教育推進教師」を中心とした指導体制の充実が示されています。

これらを踏まえて、1日目は、授業における効果的な指導法を内容とする「『道徳の時間』指導部会」と、学校における道徳教育推進教師の役割を内容とする「道徳教育推進部会」に分かれて研修を行います。2日目は、千葉大学大学院教授の上杉賢士氏を講師に迎え、道徳教育の今日的な課題と取り組み方について講義を行います。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

平成22年度研修講座の概要（2）

トップ

研修講座の概要(1)

研修講座の概要(2)

講座紹介・受講者の声

研究発表会レポート

◆509 社会福祉に関する教育講座

高齢化が進むのに伴い、介護分野における多様で質の高い福祉サービスを提供できる人材の育成や介護福祉士に係る制度改正への対応などを考慮し、知識と技術を確実に習得させるための福祉に関する教育を担当する教員の指導力向上を目指します。

本講座では、1日目は青森県立保健大学の准教授増山道康氏、2日目は高齢者総合福祉施設「清風荘」施設長長根祐子氏と介護福祉士を講師にお迎えし、福祉の現場における現状と課題、福祉専門職養成機関（教育の場）と福祉施設（働く場）について講義・演習を通して理解を深めていきます。

◆511 運動部活動研修講座

中・高等学校の運動部活動指導者には、生徒の競技力の向上のほか、心身両面のケアなど、様々な指導力が求められています。

本講座では、近年、各運動競技や学校体育の現場において、子どもの体力と動きの質の向上に大きな成果を発揮している「コーディネーショントレーニング」の講義と演習を県内で初めて紹介します。また、著名な講師による講義と演習を通して「メンタルトレーニング」を取り入れた指導法を紹介しながら「指導者が変われば選手が変わる」を実感できる内容となっています。

◆513 小学校外国語活動研修講座

平成23年度から、外国語活動が本格的に各学校で行われます。そのため、今年度は講義、演習、発表を柱として講座を編成しました。1日目の演習では「コミュニケーション活動の実際」と「学習指導案の作成」の二つを行います。前者では、英語ノートを使用しての模擬授業を行います。後者では、午前の外国語活動のねらいについての講義と模擬授業を基にして、学習指導案の作成をします。2日目は、大学から講師を招いて外国語活動の指導の在り方について演習を交えた講義と、県内小学校教諭による実践発表を行います。

◆516 こどもの育ちを支える教育研修講座

平成19年度、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「小学校学習指導要領」が改訂され、幼稚園・保育園と小学校との交流・連携が義務付けられました。「連携」とは、いわゆる「小1プロブレム」対策として園と小学校の段差をなくすために行うものととらえ、お互いの教育に乗り入れスロープを緩やかにする取組が一番の解決方法と考えられがちです。

本講座では、段差をなくすという視点ではなく、段差を「乗り越える力」を育てるという視点に立ち、発達課題という「育ち」に焦点をあてた講義・演習及び校種を越えお互いの教育を理解する場を提供します。

◆601 不登校対策講座

文部科学省平成20年度の統計によると、本県の不登校児童生徒の人数は小・中学校合わせて1446人（1000人当たり11.8人）であり、小6から中1にかけて全国に比べ3倍強の数となっています。また、高等学校では381人（1000人当たり9.1人）であり、不登校の問題は小・中・高等学校共通の大きな課題となっています。

本講座では、本県の大きな課題である不登校の問題を解決の方向に向かわせるために、当センターで評判の高い聖徳大学准教授鈴木由美氏を講師に迎え、不登校の原因・予防法・対応について講義・演習・協議を通して学びます。

◆710 「自立活動」研修講座

学校教育法等の改正に伴い、平成19年度より、すべての学校において特別支援教育を行うことが規定され、特別支援学校学習指導要領等では、障害の多様化への対応等から、自立活動に新たな区分「人間関係の形成」が設けられるなど、「自立活動」の指導の重要性がますます高まっています。

本講座では、「自立活動」について造詣の深い筑波大学大学院教授の川間健之助氏を講師に迎え、指導と評価についての講義をしていただくとともに、当センター指導主事と「自立活動」における具体的な指導内容の設定について演習を行い、「自立活動」の指導について理解を深めます。

◆905 ICT教材開発長期講座

受講者自身がテーマを設定し、授業で活用できるICT教材を開発する高等学校教員対象の講座です。内容は、プレゼンテーションソフト、表計算ソフト・データベースソフトでのマクロやVBAの活用、プログラミング言語、Flashでの教材開発などで、受講者自身が希望するICT教材の開発に対応します。当センターの情報機器を利用して教材の開発に集中できるよい機会となります。

受講日は、断続10日間ですが、初日（5/18）と最終日（9/28）以外に、夏季休業期間などを利用して受講者自身が都合のよい日を8日間設定できます。

「講座番号245 高等学校数学科教育講座【教材開発】」

この講座は生徒の数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めるためのインタラクティブな描画ツールを活用した教材を紹介し、数学的活動を充実させるとともに、教員の指導力向上を目指しています。以下の四つの内容を中心に講座が進められました。

- ① 高等数学におけるコンピュータソフトの活用事例の紹介
- ② 描画ツール(Function View)の基礎
- ③ 描画ツール(Function View)作成のねらいと効果的な活用法
- ④ 描画ツールを用いた教材の開発

描画ツール(Function View)については、製作者である和田啓助氏本人に直接指導を行っていただき、大変好評でした。

◆受講者の声

- ・ExcelのVBA、黒板プロジェクト、フリーソフトやWebの紹介をしていただき、大変参考になりました。積極的にコンピュータを活用し、授業に活用したいと思います。
- ・図形作成についてはWordを使っていましたが、今後はFunction Viewも利用していきたいと思います。また、授業においてもプロジェクターを使用し、Function Viewのソフトを使って、グラフの軌跡の説明などに活用したいと考えています。
- ・有名な和田啓助先生から、直接教えていただくことができ、大変素晴らしい講座でした。この講座については内容が濃く、講座日程をもう1日組んでいただければ、もっと充実したものになると思います。ありがとうございました。

「講座番号094 小・中学校10年経験者研修 実践力アップ講座」

この講座は、教職経験10年の節目を迎えた先生方が、自らの課題意識やニーズに基づいた各教科・領域等における指導の改善に関する研修を行うことで、得意分野を伸ばし、中堅教員としての教育実践力の向上を図ることを目的としています。以下の三つの内容を中心に講座が進められました。

- ① 京都教育大学教授 山下宏文氏の講演「地球温暖化とこれからの環境教育」
- ② センター研究発表会への参加
- ③ 当センター義務教育課長の講義「教育実践と評価―自己の課題意識に基づいて、特色ある教育実践を進めるために―」

◆受講者の声

- ・講演での「未来へのまなざしをもった人間形成をめざし、子ども達の主体性を発展させることが重要である」という言葉が心に響きました。子ども達自身が自分と周りの環境を考え、「めざす社会を作るためには、どんな力が必要だろうか」と考えられるように、教師が場を設定し支援していくことが大切だと感じました。
- ・研究発表会では、校種や教科をこえて各種多様な発表から多くのことを学びました。いろいろな立場の先生方が、研究に前向きに取り組む、研さんを積んでいる姿を間近に見て、自分自身も努力をしていきたいという思いになりました。
- ・講義での「努力できることも実力のうち」という言葉に尽きると感じました。子ども達への接し方、教材研究、分掌等において、粗末にすることなく、より良いものを求めて努力することの大切さを改めて感じさせてくれました。「人生で一番若いのは今」という言葉を胸に、謙虚な姿勢で挑戦しながら学び続けて行きたいという意欲をもたせていただきました。

お知らせ

ーセンタートップページがリニューアルします！ー

この春、センタートップページがリニューアルします。「さらに使いやすく」をコンセプトに、先生方の教育活動を強力にサポートするため、様々な情報を前面に配置しました。今後もセンタートップページを入口として、多くの情報を発信していく予定ですので、是非ご活用ください。どうぞ、お楽しみに！

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

研修講座の概要(1)

研修講座の概要(2)

講座紹介・受講者の声

研究発表会レポート



高等学校数学科教育講座の様子



10年経験者研修（所長あいさつ）



10年経験者研修（義務教育課長講義）

授業情報システム	
～人におは！ 専修学校全学校教育センター さん ユーザメニュー - トップページ - メールした授業情報も表示する - 授業情報も表示する - 私が所属した授業情報も表示する - ログアウト お問い合わせ	最新の授業情報 2019-3-1 第1期活用教材(3年生) (小・中・高) 2019-2-22 第1期活用教材(3年生) (小・中・高) 2019-2-18 第1期活用教材の取組と評価 (小・中・高) 2019-2-18 第1期活用教材の取組と評価 (小・中・高) 2019-2-17 トリプル・エデュケーションの取組 (小・中・高) ベストアクセス 1位 ローゼン教育教材(小・中・高) 2位 第1期活用教材(小・中・高) 3位 トリプル・エデュケーションの取組(小・中・高) 4位 第1期活用教材(小・中・高) 5位 第1期活用教材(小・中・高)

授業情報システムには授業や校内研修で使える教材が満載！

1月7日（木）・8日（金）、「平成21年度青森県総合学校教育センター研究発表会」が当センターを会場に開催されました。この発表会は、当センターにおける研究成果を本県の教育の向上に役立てるという趣旨で、教育関係者はもとより広く一般の方も対象として毎年行われているものです。

今年度は、10年経験者179名、長期講座受講者19名、一般参加者は昨年度を若干上回る148名など、曇り空にもかかわらず、県内各地から2日間で延べ700名以上が参加され、センター研究発表会に対する関心の高さが感じられました。

1日目は、京都教育大学 教授 山下宏文氏の「地球温暖化とこれからの環境教育」と題した講演から始まりました。地球温暖化問題が叫ばれる現在、環境問題、エネルギー問題は私たち人類に科せられた重大かつ喫緊の問題であります。私たち自身がそれをどのように理解し、子どもたちに伝えていくか、具体的に示唆に富んだお話を伺うことができました。参加者からは「ホッキョクグマを例にした具体的な実践例もあり参考になった。」「未来を担う子どもたちのためにも環境教育は絶対必要だと感じた。」という感想が寄せられ、「環境問題について考えるよいきっかけになった。」という意見も数多くありました。

1日目の午後から2日目にかけては、指導主事、研究員、長期講座受講者の計40名が教科教育、特別支援教育、情報教育、教育相談の四つの分野に分かれて発表しました。いずれの発表も、今日的な教育課題をテーマにした内容であったため、参加者は真剣に聞き入り、充実した研究発表、質疑応答となりました。

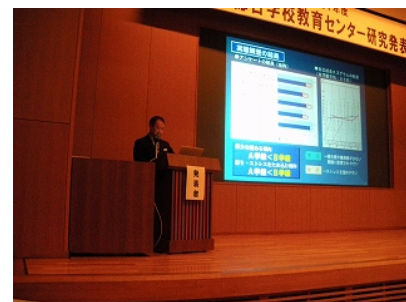
お忙しい時期にもかかわらず、おいでいただいた参加者の皆様、本当にありがとうございました。来年度の研究発表会は、参加者がより参加しやすいように平成23年1月7日（金）の1日の日程で行う予定です。多数の参加をお待ちしています。



センター研究発表会（講演）
山下宏文氏



センター研究発表会
（部会別研究発表会－特別支援教育－）



センター研究発表会
（部会別研究発表会－教育相談－）



センター研究発表会
（部会別研究発表会－情報教育－）

お役立ち情報

今年度第3次購入分の新着図書の一部をご紹介します。ライブラリでは、情報をより検索しやすくし、サービスを向上させるため、新年度より図書管理システムを導入することになりました。現在その準備作業のため臨時休館しております。貸出の再開は5月を予定しております。利用者みなさまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

図書資料名	編著者	出版社
教育の最新事情がよくわかる本	教育開発研究所	教育開発研究所
科学的根拠で示す 学習意欲を高める12の方法	辰野千壽	図書文化社
学校での効果的な援助をめざして 学校心理学の最前線	石隈利紀 水野治久	ナカニシヤ出版
自分とも友達とも ポジティブ・コミュニケーション かわりをトレーニングするワーク&ワークシート	会沢信彦 品田笑子	ほんの森出版
「言語力」を育てる授業づくり 新学習指導要領対応	梶田敏一 甲斐睦朗	図書文化社
新学習指導要領に定める理科教育	理科教育研究会	東洋出版社
日本美術の授業 -東京国立博物館の名品による鑑賞授業の手引き-	独立行政法人国立博物館 東京国立博物館 日本美術鑑賞教育研究会	日本文教出版
創造的な食育ワークショップ	金丸弘美	岩波書店
英語教育21世紀叢書 中学校英語授業 指導と評価の実際	杉本義美	大修館書店
パーンアウト 仕事とうまくつきあうための6つの戦略	マイケル・P・ライター クリスチーナ・マズラック	金子書房

編集後記

先日、1泊4日（車中2泊、ETC割引利用で高速料金2,100円）で日本列島（24府県）を縦断し、鹿児島県まで行って来ました。平和会館に展示されている資料や写真はもちろんです、整備された知覧の町並みや無数の灯籠に感銘を受けて帰って来ました。

インターネットを利用することで、地球上の様々な場所や町並みを疑似体験することも可能となりました。しかし、その場所の空気や太陽の高さなど、その場に行き、肌に触れることで、はじめて感じられることもたくさんあるのではないかと思います。

「百聞は一見にしかず」、来年度も多くの方が当センターの講座を受講されることを期待しております。

（広報委員 神 和宏）

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

研修講座の概要(1)

研修講座の概要(2)

講座紹介・受講者の声

研究発表会レポート